

平成28年度第2回山形県図書館協議会

日時：平成29年3月29日（水）14:00～16:00

場所：「遊学館」3階 第2研修室

次 第

1 開 会

2 あいさつ
県立図書館長

3 協 議
(1) 平成28年度 県立図書館の利用拡大のための取組みについて
(2) 平成29年度 県立図書館 運営方針（案）について

4 報 告
(1) 県立図書館活性化対策事業について
(2) その他

5 その他

6 閉 会

平成28年度第2回山形県図書館協議会出席者名簿

《委員》

(敬称略)

氏名	役職	備考
加藤 美穂子	一般社団法人子どもの読書サポートアシード代表理事	
佐藤 晶子	元月刊「SPOON」編集長	
新藤 透	山形県立米沢女子短期大学准教授	
鈴木 雅史	山形新聞社論説委員	
沼野 慈	特定非営利活動法人NPOもがみ理事長	委員長
松田 道雄	尚絅学院大学 エクステンションセンター特任教授	
渡邊 裕美	山形県学校図書館連絡協議会長 (山形大学附属中学校長)	

《主催者・事務局》

氏名	所属・職名
阿部 稔	教育庁文化財・生涯学習課 生涯学習振興室長
青柳 晴雄	同 室長補佐
大場 幹生	同 生涯学習施設主査
太田 圭亮	同 主任主事
小関 正弘	県立図書館 館長
佐藤 雅人	同 副館長(兼)総務課長
安達 均	同 経営主幹(兼)経営課長
高橋 啓二	同 企画主幹(兼)企画課長
佐藤 美智子	同 総務課 総務主査
今田 広美	同 経営課 調査相談専門員
早坂 幸子	同 経営課 管理主査
豊田 一寿	同 企画課 運営企画専門員
高橋 淳子	同 企画課 運営企画主査
菊池 綾子	同 企画課 図書館活性化主査
寒河江 惇	同 企画課 資料整備主査

平成28年度第2回山形県図書館協議会

配付資料一覧

(平成29年3月29日)

[協議事項]

- 1 平成28年度 県立図書館の利用拡大のための取組みについて
- 2 平成29年度 県立図書館の運営方針(案)について

[参考資料]

◇「本の森通信」vol.5 (平成29年3月発行)

山形県立図書館 平成 29 年度運営方針

1 運営方針

「県立図書館の将来のあり方について」（平成 27 年 3 月策定。以下「あり方」という。）に掲げる基本理念『県民のあらゆる活動を支え、地域の課題解決に貢献する知の拠点』を目指し、「県立図書館活性化基本計画」（平成 28 年 3 月策定）も踏まえながら、次の 3 つの基本目標を掲げて各種施策を展開する。

- (1) 県内図書館の中核的役割の発揮（「あり方」基本目標 1）
- (2) 県民ニーズ実現のための積極的支援（同基本目標 2）
- (3) 県民本位の利用しやすい図書館づくり（同基本目標 3）

2 主な取組み

(1) 県立図書館の大規模改修に伴う基本設計及び実施設計の実施

教育庁文化財・生涯学習課が実施する県立図書館の大規模改修に伴う基本設計及び実施設計の作業に積極的に参画し、本県における「知の拠点」として県民ニーズに適合した施設づくりに努める。

(2) 県内図書館の中核的役割の発揮

① 資料整備の推進

県内公立図書館・図書室（以下、「県内公立図書館」という。）が整備しない専門性の高い資料についても積極的に収集に努め、県民の知的ニーズや情報ニーズに応える。

② 相互貸借、インターネット予約及び特別貸出の推進

県内公立図書館との相互貸借やインターネット予約について県民に周知するとともに、県内公立図書館や学校図書館等への一括特別貸出を促進し、県民の誰もが県立図書館の資料を利用できる環境づくりを進める。

③ 県内公立図書館の機能向上の支援

レファレンス等サービスの実施、資料整備、その他図書館運営に係る県内公立図書館からの要請に応じて、情報提供や助言を行い、そのサービス機能の向上を支援する。

④ 県内公立図書館との連携事業の推進

県内の図書館活動の広報や読書推進に係る事業について県内公立図書館と連携して実施する。

⑤ 県内公立図書館職員の研修支援

県内公立図書館職員を対象とした施設の運営及び危機管理、図書館機能の充実等に資する研修を実施し、県内公立図書館職員の資質の向上を図る。

また、複数または単独の県内公立図書館が実施する研修に講師を派遣する等に

より公立図書館職員の研修を支援する。

⑥ 学校図書館との連携の推進

学校図書館の活動支援及び児童・生徒の県立図書館利用促進に向けて学校図書館関係教職員・学校司書・図書委員の研修の受入れや共同の取組みを進める。

高等学校及び大学・短大等については直接支援し、小中学校については主に地元市町村図書館（室）に協力することを通じて支援を行う。

⑦ 調査相談（レファレンス）の充実

調査相談活動の充実を図るとともに、レファレンスツールの整備を進める。また、レファレンスの事例についてホームページ等で紹介する。

⑧ 職員の資質の向上

県内図書館の中核的役割を担う職員の資質向上にむけて研修機会の充実に努め、図書館全体としての支援能力と専門性の向上を図る。

(3) 県民ニーズ実現のための積極的支援

① 地域の課題解決や地域活性化への支援

医療、福祉・介護、教育、法律問題など県民の日常生活上の課題解決や地域づくり、防災など地域コミュニティの課題解決、さらには地域活性化に資する活動について支援する。

当面、課題解決に資する資料の整備を行うとともに、民間団体及び行政機関の取組みやイベントと連携して関連資料を展示する企画展を開催する。

② 知的情報の発信

県民の知的ニーズや情報ニーズに応える講座やイベントを実施する。

③ 読育の推進

子育て支援機関や教育機関などへの団体貸出を促進するとともに、各団体と連携し、出前図書館、読み聞かせ会その他の活動を行う。また、読み聞かせ活動・読書推進活動への支援を行う。

④ 地域政策課題解決の支援

行政機関等関係機関に地域政策課題解決のための図書館活用を積極的にPRするとともに、ホームページその他の媒体等を通じて、地域政策課題に資する資料の情報を関係機関に提供する。

⑤ 貴重資料デジタル化の推進

貴重資料等のデジタル化とホームページでの公開を進める。

⑥ 積極的な情報発信による認知度の向上

図書館活用をアピールする話題性のある企画を実施するとともに、県立図書館の活動をひろくPRするため、パブリシティの活用及びホームページやフェイスブックによる情報発信を積極的に行う。

また、図書館のイベント、新着図書、施策等に関するお知らせを掲載した「本の森通信」を定期的に発行する。

⑦ ボランティアの受入れ等、図書館運営への県民参加の推進

引き続きボランティアの受入れを進めるとともに、図書館の利用案内、資料整理、配架、図書館イベントへの協力等の活動に加えて自主的な活動を促進する。

また、雑誌スポンサーの拡大を引き続き図る。

(4) 県民本位の利用しやすい図書館づくり

① 開館日の増加等

蔵書点検期間の短縮による開館日の増加について検討を進める。

また、祝日となる月曜日の開館について、引き続き関係機関と検討を進める。

② 蔵書管理の充実による利便性の向上

平成 27 年度末に一部機能の運用を開始し、平成 29 年 3 月から開始する新図書館情報システムと連携した I C タグによる蔵書管理システムについては、その円滑な運用を図る。また、閉架書庫の蔵書について I C タグ貼付作業の進捗を図る。

③ インターネット・複写サービスの利便性向上

大規模改修に合わせて、Wi-Fi 環境の導入に努める。また、カラー複写サービス用機器の整備について引き続き検討する。

④ 障害者、高齢者、乳幼児及び同伴者等へのサービスの向上

障害児者向けの大型活字本や「マルチメディア DAISY」及び高齢者向けの大活字本や朗読 CD の充実を図る。

また、大規模改修にあたっては、低学年児や乳児とその同伴者が気兼ねなく利用できる「子ども用エリア」の整備に努める。

⑤ 親しみやすく、発見のある図書館づくりの推進

親しみやすく気兼ねなく利用できる雰囲気づくりについて、施設の整備・運用と事業実施の両面で検討していく。

また、手作り感を生かしたポップの掲示やアイデアを活かした企画展示を実施するとともに、「クリスマス・フェスタ」、「図書館のぼうけん」、「本の森講座」、朗読会、トークイベントなどの多様な事業の実施や外部主催者によるイベントの招致を通じて、親しみやすく、訪れる度に何か発見のある県立図書館のイメージを定着させていく。

⑥ 県民活動や地域の活性化につながる取組みの展開

県民活動や地域の活性化支援につながる企画展示やイベントを開催するとともに、外部団体のイベントや企画等を図書館に呼び込み、その取組みやネットワークづくりを支援していく。

平成 28 年度 県立図書館企画事業等の実績

【平成 28 年度の新たな取組み】

1 「絵本とうたの会」の開催 (4/23)

こどもの読書週間において企画展示「絵本が奏でる音の世界」を開催し、併せて高校生による合唱と読み聞かせの会を開催した。

2 山形ビエンナーレ 2016 関連展示「図書館でアートを読もう！」(8/30～9/25)

「みちのおくの芸術祭/山形ビエンナーレ 2016」のイベント「ブック・トープ・フェス」(9/10)と「詩人・和合亮一朗読会」(9/24)の館内開催に協力し、これと関連した企画展示「図書館でアートを読もう！」を開催した。

3 「読み聞かせグループ交流・実演会」の開催 (10/30)

山形県内で読み聞かせ活動を行っているグループ、個人が一堂に会して活動内容を実演するとともに、お互いの交流を図った。(実演は一般公開)

4 平成 28 年度地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業の開催 (12/17)

やまがた教育の日関連イベント「平成 28 年度地域ぐるみで『体験の風をおこそう』運動推進事業」の一環として「ラッピングブックをつくろう！&図書館地下たんけんツアー」の体験イベントを実施した。

5 「本の森講座」の開催

県立図書館の公開講座として、第 1 回「異貌の維新」(7/16)、第 2 回「火山と地震の科学」(7/16)、第 3 回「ひとり暮らし学生・新社会人のための気をつけたいお金の話」(8/9)、第 4 回「なぜ日本人だけが血液型と性格の関係を信じているのか」(8/9)、第 5 回「山形城絵図を読む」(3/25 予定)を開催。

6 県関係職員のための新着図書案内

県のイントラの掲示版に業務の参考となる新着図書案内を計 8 回掲載した。

【平成 28 年度のみ実施事業】

- 1 北日本図書館連盟「北日本図書館大会～テーマ・地域を元気にするため図書館ができること～」(遊学館)開催主管 (6/23・24)
- 2 文部科学省委託事業「図書館研修(北日本)」(遊学館)開催主管 (11/15～18)
- 3 伊藤忠財団主催「読書バリアフリー研究会」(遊学館)開催協力 (10/24)

【企画事業・企画展示】(上記以外)

1 企画展示

図書館内において企画展示(テーマに沿った図書の展示)を随時行っている。今年度もより幅広い組織・団体との連携を重視している。

実施済み館内展示回数	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度 (1 月末現在)
期間限定展示	26 回	33 回	40 回	28 回
常設展示のテーマ入替	34 回	65 回	59 回	46 回
計	60 回	98 回	99 回	74 回

(1) 県組織・事業連携展示

- ・砂防・災害対策課連携展示「自然災害を知る」(5/17～6/18)
- ・スポーツ保健課連携展示「『食』をつなぐ」(9/13～10/15)
- ・若者支援・男女共同参画課連携展示「子供・若者育成支援強調月間」(11/1～11/30)
- ・村山保健所連携展示「自殺防止月間」(3/14～)

(2) 遊学館イベント連携展示

- ・「山形小説家(ライター)講座連携展示」(通年)
各月の講座の講師等の作家(14名)について、作品を展示(計12回)

(3) 地域連携展示

- ・「熊本地震」関連資料緊急展示(支援募金箱設置)(4/22～6/30)
- ・「新庄まつり」ユネスコ無形文化遺産登録PR活動連携展示(11/22～1/31)
- ・「アートツリーやまがた」(寒河江市)連携展示(2/9～26)
- ・フォーラム山形・映画「ソング・オブ・シー」上映(遊学館)連携展示(2/18)
- ・東日本大震災追悼・復興祈念事業連携「3.11を忘れない」企画展示(3/14～)

(4) 出張展示

- ・「子育て応援団すこやか2016」出張展示(山形ビッグウイング)(6/25)
- ・小国町白い森芸術祭「移動図書館がやってくる!」出張展示・貸出(11/26)

2 県民参加企画

(1) 「としょかんのぼうけん」(12/10)

図書館の各所に隠されたキーワードを探していく子ども向け企画

(2) 「県立図書館クリスマスフェスタ2016」(12/17)

「一箱古本市」「ハンドベル・ミニコンサート」「図書館地下探検ツアー(大人向け)」「ラッピングブックの貸出」を実施

【市町村図書館・高等学校図書館の支援と連携】

1 市町村図書館職員、高等学校司書教諭・学校司書等の研修機会を提供

「図書分類法研修会」(8/22)及び「危機管理研修会」(10/17)を実施。
西村山地区図書館職員研修会にて「現代の図書館の動向」を講話(8/17)
大石田町図書館職員実務研修受入れ(8/30～9/3)

2 学校図書館部会(教職員)や図書委員(生徒)等の研修機会を提供

山形市内中学校教育研究会図書館部会研修受入れ(5/25)
山形市内小学校教育研究会図書館部会研修受入れ(8/3)
山形商業高校、山形電波工業高校の図書委員研修受入れ
東北文教大学短期大学部フィールドワーク(調査)受入れ

3 「山形県図書館大賞2016」

市町村図書館35館と高等学校図書館20校の職員計353名による投票で、「心に効く本～あなたを励ます1冊～」として44作品を選定。

図書館大賞作品は、県立図書館ほか、18の公共図書館・図書室、20の高校図書室、1大学の図書館で展示された。

平成 28 年度県立図書館の利用拡大のための主な取組み

(※企画事業・展示は別紙)

○図書館情報システムの再構築

より使いやすい県内各図書館横断検索及びICタグと連動した図書館情報システムの稼働を平成 29 年 3 月 14 日から稼働している。

○郷土関係貴重資料のデジタル化 (H28. 7～)

平成 27 年度に現物調査した和装本のうち「義光物語」など 12 作品について、県ホームページで公開を開始した。

○マルチメディア DAISY (デイジー) 図書の貸出 (H28. 6～)

目が不自由な方やページをめくるのが困難な方あるいは、活字が苦手な子どもでも読書を楽しめるように、音声と一緒に文字や画像が表示されるデジタル図書の展示コーナーを設置し、資料の貸出を開始した。併せて各カウンターに耳マークの表示パネルを配置した。

○図書館ボランティアの導入 (H27. 8～)

平成 27 年年度からの継続登録 14 名、平成 28 年度の新規登録 8 名を加え計 22 名による図書館ボランティアが、書架整理、クリスマス・フェスタ等を手伝ってもらうとともに、平成 29 年 2 月の蔵書点検についても協力を得た。

○パスファインダーの作成 (H26. 4～)

特定のテーマについて、関連する資料や情報を探すための手順を簡単にまとめたパスファインダー 6 種類を作成した。(合計 36 種類)

○雑誌スポンサー制度 (雑誌受入・広告掲載) (H26. 4～)

企業と図書館の相互 PR 効果及び資料費確保のため、平成 28 年度は 7 社 9 誌と契約した。

スポンサー名	開始時期	雑誌名
(株)大風印刷	H26. 5～	週刊文春
(株)山形銀行	H26. 6～	プレジデント
(株)荘内銀行	H26. 8～	週刊新潮、モンテディオ山形ファンマガジン Rush
山形県住宅供給公社	H28. 4～	オレンジページ
ホテルキャッスル	H28. 4～	ゼクシィ
(一社)子どもの読書サポートアシード	H28. 4～	MOE
東北労働金庫	H28. 5～	住まいの設計、日経マネー (※月刊分)